
まさきだより

令和7年6月30日

水泳の授業を学校のプールで実施

本校では毎年6月中旬から7月中旬にかけて体育の授業で、学校のプールを使って水泳の授業を行います。今年も子どもたちが水しぶきをあげて、元気に泳いでいます。1年生から3年生までは低学年用プールで、4年生から6年生までは高学年用プールを使用しています。

子どもたちは水泳の授業をととても楽しみにしています。私も監視要員としてプールサイドに立つことがありますが、どの子も一生懸命に取り組んでいます。顔を水につけて、腕を伸ばして、勢いよく泳ぎだしています。監視をしていると、「水は冷たいけど、気持ちがいい」とか「泳げるようになったので見てください」などと話しかけてくれます。こちらから「じょうずだね」、「がんばっているね」、「すごいね」と声を掛けると、ニコッとして応えてくれます。

気温が高くなり、これからは水の事故が心配な季節になります。正木地区は、東側に木曽川があり、中央部に逆川があり、水田に水を送るための水路があります。大雨が降ると、水路から水が溢れて冠水する場所もあると聞いています。水の事故から子供を守るためには、河川、湖、用水路など、水に近づかないことです。子どもたちだけで水の近くで遊ばないように、ご家庭でも見届けや声掛けをお願いします。

保護者の方におかれましては、お子さんの水泳の授業のために、道具の準備や健康管理などへのご協力をありがとうございます。本校では今後も、子どもたちの実態を踏まえ、羽島市の熱中症対策ガイドラインに基づいて、7月以降の教育活動を展開します。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 花村伸二



今年も JA 羽島正木支店と岐阜営農組合さんのご協力のもと5年生が、田植え体験を行いました。秋には稲刈り体験を行う予定です。今年で2回目の体験。

本校では、様々な体験的な活動を通じて、児童の健やかな成長につなげたいと考えています。

ホームページでも情報を掲載していますので、ご覧ください。